

休日の部活動は地域クラブへ

部活動のカタチが変わります

少子化による生徒数の減少によって中学校が小規模化し、部活動では単独チームが組めない、希望する部活動がないなどの現状があります。

また、専門的な指導を受ける機会や、多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる機会の確保、教職員の働き方改革の推進などを目的としたガイドラインが国・県から示されており、市では**休日部活動の地域移行**を段階的に進めています。

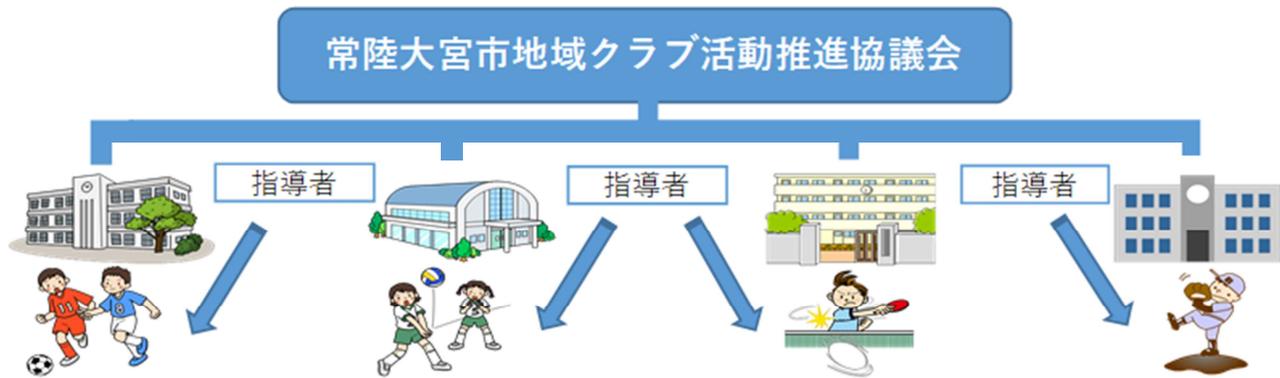
そのため、休日部活動は、学校主体(教職員)から地域主体の地域クラブ(地域クラブ指導員)へと、**部活動のカタチが変わります。**

(1) 部活動の地域移行で変わること *部活動・地域クラブへの参加は任意

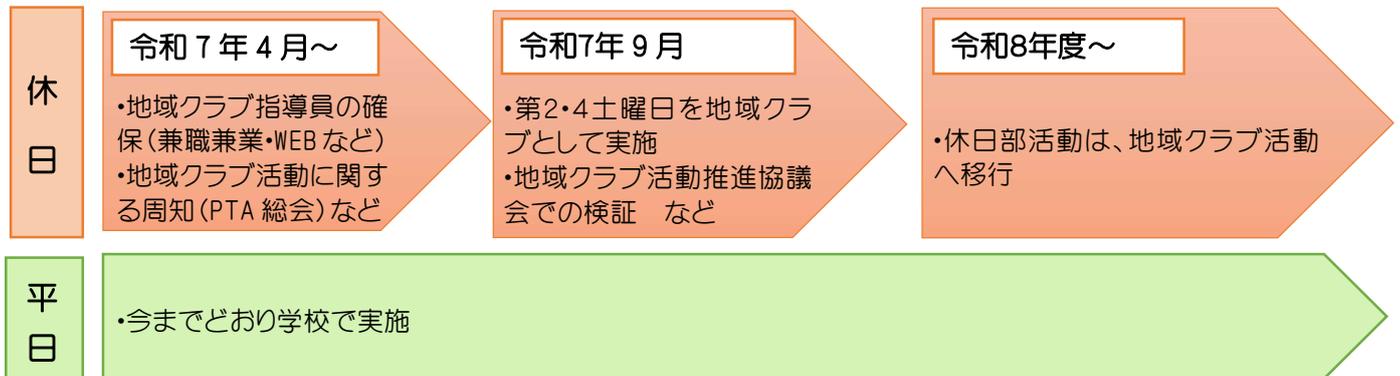
- 休日の部活動がなくなり、休日の活動の選択肢が増えます。
- (例)・平日の部活動と**同じ競技**で、技能を高める。平日の部活動と**別の競技**で新しい技術や技能を身につける。
- ・休日の地域クラブ活動に**参加せず**に、リフレッシュや学習、家族との時間にしたり、新しいことにチャレンジする。
- 地域のクラブ活動では、地域の専門的な指導者が指導します。(教職員がクラブ活動の指導者になることもあります。)
- 活動場所が現状と変更する場合があります。
- 中学校の垣根がなくなり、1チーム当たりの人数が増えることで、練習の幅が広がります。
- 受益者負担(保険代など)が発生します。



(2) 地域クラブ活動のイメージ



(3) 休日の地域クラブ活動開始に向けて



※順次、休日の部活動はなくなり、地域クラブ活動になります。

※平日の部活動は、今までどおり学校で実施します。